

## 会 議 録

会議名 (付属機関等名)	第3回 中央北産業遺産あり方検討委員会		
事務局 (担当課)	中央北整備部 中央北推進室 地区整備課		
開催日時	平成24年8月29日(水) 14時00分～16時20分		
開催場所	川西市役所 4階 庁議室		
出席者	委員 (敬称略)	山崎、今西、澁野、水島、杉岡、坂本、畠中、酒本、枅川、岡崎、 松下	
	事務局	馬場、山本、西村(株)地域計画建築研究所)	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	2人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1. 開会 2. 前回の振り返り 3. 中央北産業遺産あり方の方向性のパターンについて 4. 解体にあたり仮置きする部品のリスト案について 5. 解体前に実施するイベント案について 6. 意見交換		
会議結果	別紙の通り		

### 第3回中央北産業遺産あり方検討委員会における意見整理

#### 中央北産業遺産あり方の方向性に関する意見

- ・ 前処理場の跡地が新しく公園に変わるということで、プラスの発想をしていくべき
- ・ 新しいカタチの残し方として可能性を探っていくと、結果として川西市のPRにもつながっていくかもしれない
- ・ 知っている人が見れば前処理場のものを活用していることが分かるような形であれば負のイメージもあまりないのでは
- ・ 象徴的だったものとして、皮革産業に使用されていたバットルやなめし太鼓をオブジェとしてはどうか
- ・ 地下水槽を防災面で活用するのは非常に有効だと思う  
地下水槽については位置、ボリューム等を含め整理し検討を行う
- ・ 現在も皮革産業を行っている「たつの市」と連携し、情報発信やものの残し方を検討しては
- ・ 地下水槽をコンサートホールにしてはどうか
- ・ 前処理の過程を踏まえて部品・部材を残せたら

#### 解体にあたり仮置きする部品のリスト案に関する意見

- ・ 造形的に面白いものに絞って残していく
- ・ 処分するものを使っていこうというポジティブな思考
- ・ 第2水処理にある壁画を復元等して活用する
- ・ 前処理場に使われている部品、部材等を材料として形を変えて再利用する
- ・ 中央監視室のパネルは水質に関する学習教材として活用できないか
- ・ 仮置き場のスペースにもよるが、除染できるものすべてを残し、公園のワークショップのときに実際の使い方を検討していく
- ・ 除染できるものに限定すべき

#### イベント案について

- ・ 公共施設を残すという視点でイベントを行っては
- ・ 施設の存在自体を知らない方もたくさんいるので、前処理場を知ってもらうという観点で開催すれば良いのでは
- ・ 残す部品や活用方法の提案をして広く
- ・ 10月20日(土)、21日(日)に見学会等を実施する方向で検討し、時間の関係上、詳細については事務局で調整を行う

次回は、10月のイベントの実施後に最終のとりまとめとして開催を予定している。日程、場所は調整後、決まり次第連絡する。